

生産入力

生産伝票を登録すると生産する商品と使用する部材の在庫数を増減できます。

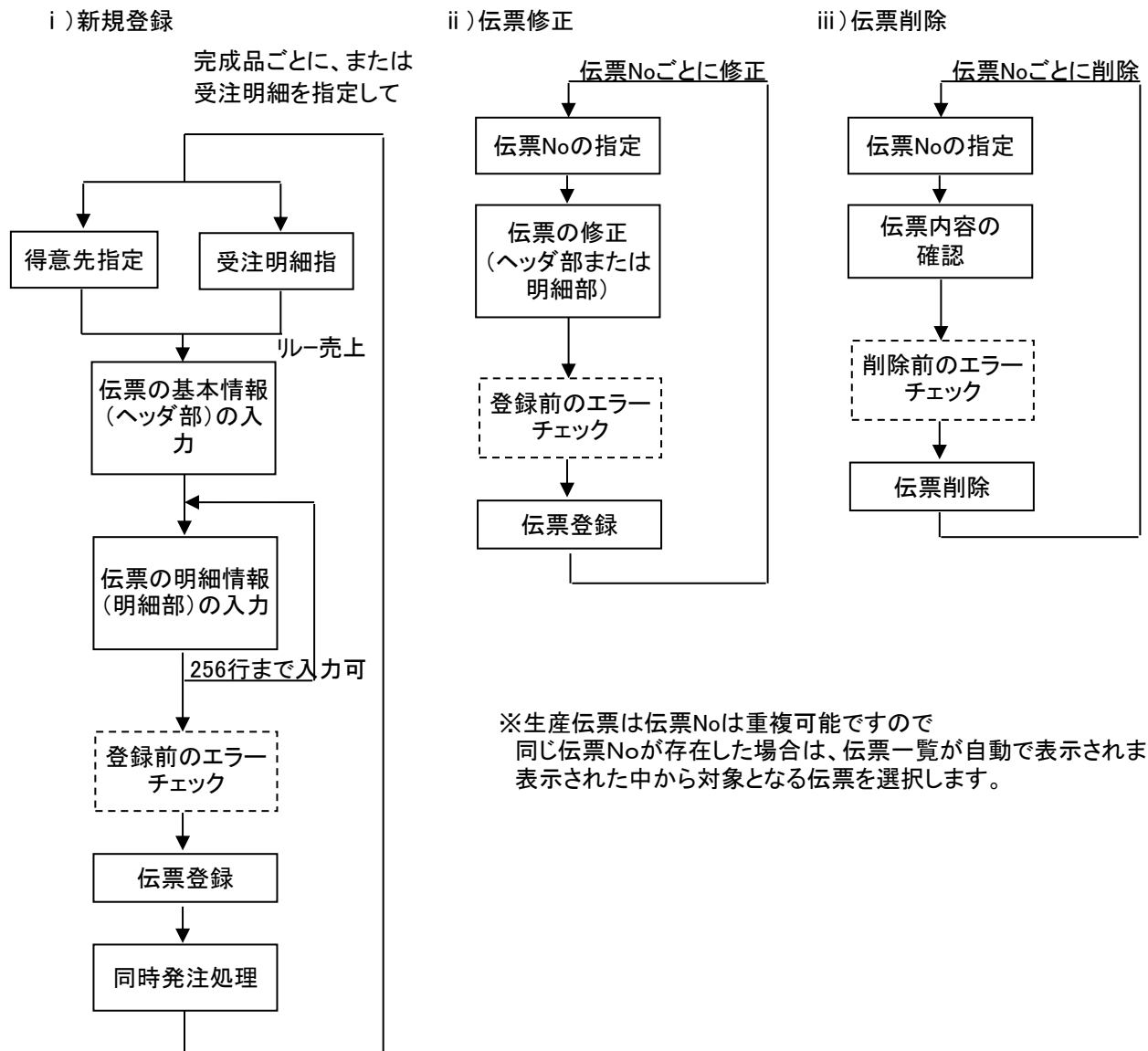
※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

Point

・生産入力することにより、以下の業務が可能となります。

- ① 指定した日付で完成品の在庫数を増加、部材の在庫数を減少が可能。
- ② 未着手の状態でも生産伝票を登録することで生産予定を管理することができる。
- ③ 完成品の受注明細を指定して生産伝票を登録すると、受注No別原価表にて受注生産の原価管理が可能。

1) 生産入力の操作の流れ



※生産伝票は伝票Noは重複可能ですので
同じ伝票Noが存在した場合は、伝票一覧が自動で表示されます。
表示された中から対象となる伝票を選択します。


※新規伝票は、受注明細を指定して作成することも、受注関係なしに作成することもできます。
指定できる完成品の商品コードのみで、受注明細も完成品の商品の場合のみ指定できます。

※新規登録の場合、明細に仕入先が指定されている明細行が同時発注できます。
修正の場合は、新規登録時に同時発注している行のみ、生産伝票更新時に発注伝票が修正で開きます。

2) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

項目名称	説明
伝票No	入在庫伝票Noです。 採番管理登録の設定内容によっては重複することもあります。
受注No 行No	完成品の受注明細行に紐付ける場合、受注Noと行Noを指定します。 直接入力はできません。受注明細検索画面より選択します。
完成品	生産する完成品の商品コードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示) 受注明細と紐付けしない場合は任意の完成品の商品コードを指定できます。 受注明細と紐付けする場合は受注明細の商品コードになります。
伝票日付	生産伝票の伝票日付を入力します。 Point ・完成品および部品の在庫増減に伝票日付は関係ありません。 完成品の在庫増は完成日、部品の在庫減は開始日になります。
担当者	営業担当者を選択します。 ログインした担当者が初期表示されます。 当伝票がどの事業所の生産であるかは、担当者が所属する事業所で決定します。 事業所名は担当者横に表示されています。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更となってもデータにセットされた事業所は変更となりません。
状況	未着手/生産中/完了 から選択します。 Point 未着手・・・生産段階にも至らないもの。社内通達用。 伝票登録で部品の有効在庫を押さえます。完成品は完成予定日で有効在庫増になります。 生産中・・・生産着手して、完成前の段階のもの。開始日で部品の実在庫が減少します。 開始日の入力が必要です。 完了・・・生産が終了した段階のもの。完成日で完成品の実在庫が増加します。 完成日、開始日の入力が必要です。
メモ	伝票ごとのメモを入力することができます。

項目名称	説明
受注納期 受注数量 受注単価 受注金額	受注明細と紐付けている場合に、受注明細の情報を表示します。
倉庫	<p>完成品を入れる倉庫を指定します。 受注明細と紐付けている場合は、受注明細の倉庫が初期表示されます。 紐付けていない場合は、商品マスタの倉庫が初期表示されます。</p> <p>SapceまたはF4キーにて表示される倉庫別在庫一覧から選択変更もできます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品の在庫数管理は全て倉庫別に行っています。 在庫管理が不要の商品は倉庫を指定できません。 在庫管理が必要な商品は倉庫を必ず指定しなければいけません。 指定したい倉庫が倉庫別在庫一覧に表示されない場合、「未登録の倉庫を選択」ボタンで表示される倉庫一覧から選択してください。 
生産数量	<p>完成品の生産数量を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成品は状況＝完了になった場合に完成日で実在庫が増加します、 完成品の有効在庫は完成予定日が入力されている場合にその日付で増加します。 数量の少数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
受入単価 受入金額	<p>完成品の受入単価、受入金額を表示します。入力はできません。</p> <p>受入金額＝使用部材の金額合計 受入単価＝受入金額÷生産数量</p>

3) 明細情報(明細部) 項目の説明

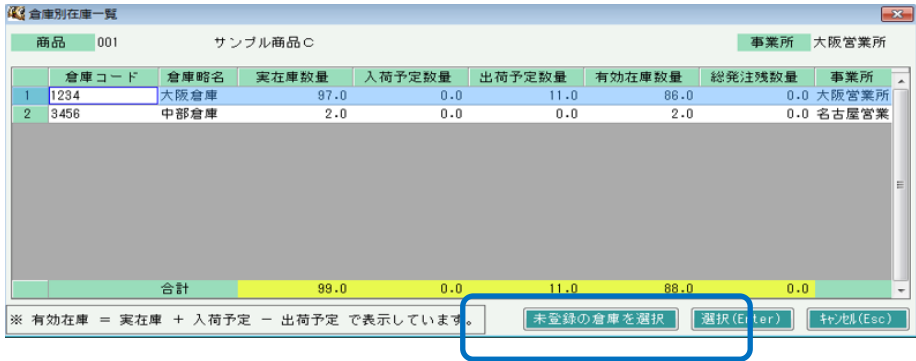
入力画面の下部にある明細情報欄の使用する部品が指定できる箇所を明細部と呼びます。

明細部には、商品ごとに1伝票256行まで入力することができます。

各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。

行No	削除	伝区	部品コード	品名2	倉庫コード	構成数量	種別	単位	払出単価	払出金額	仕入先コード	仕入先略名	備考	マーク	発注
1	<input type="checkbox"/>	生産部	0011		0000	1.0									
			テスト1 1		共通倉庫	1.0			0.0	0					
2	<input type="checkbox"/>	生産部	0012		0000	1.0									
			テスト1 2		共通倉庫	1.0			0.0	0					
*	<input type="checkbox"/>	生産部				0.0			0.0	0					
						0.0			0.0	0					

項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番される。 256行まで入力可能。 「*」マークの行は、まだ何も入力されていない行。
削除 (ボタン)	入力した行を削除する場合、この削除欄に マウスでチェックを入れます。 チェックを入れると行全体がグレー背景となり入力不可となります。 その状態で伝票登録すると、自動的に行削除されます。
伝区 (伝票区分)	明細行の入力内容を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・生産部 …… 部品を指定する場合に使用します。 ・摘要、メモ …… メモ内容を入力する場合に使用します。 品名1、2と備考、マークのみ入力可能です。 摘要を選択時、品名欄でF4キー押下にて、摘要マスタから 選択できます。その場合は、品名に摘要名が設定されます。
商品コード	使用する部材の商品コードを入力します。コードの入力は必須です。 構成商品登録している部材が初期表示されます。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにて商品コードを変更する することもできます。 運用設定の登録内容によっては、Spaceキーでは商品マスタにて指定された 事業所を参照し、ログオン担当者の所属する事業所と同じ事業所の商品のみを一覧 表示することができます。 F4キーでは全商品一覧です。 Point <ul style="list-style-type: none"> ・コードを入力すると、商品マスタに設定されている 「品名」「品名2」「倉庫」「単位」「商品種別」「払出金額」が自動表示されます。
品名	使用する部材の商品名を入力します。 新規登録では、商品コード選択時に商品マスタの 商品名が初期表示されますが、表示後の訂正は可能です。 ※商品台帳や商品在庫一覧に印字される商品名は商品マスタの登録名称です。 Point <ul style="list-style-type: none"> ・品名は入力必須ではありません。 ・マスタより選択後に、品名を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効です。 商品マスタ内容は変更されません。
品名2	使用する部材名の補足情報を入力します。摘要、メモの場合は任意文字列を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの品名2が初期表示されますが、表示後の訂正も可能です。 Point <ul style="list-style-type: none"> ・品名2は入力必須ではありません。 ・マスタより選択後に、品名2を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効です。 商品マスタ内容は変更されません。 ・品名2のタイトル名称は運用設定にて変更できます。

項目名称	説明
倉庫	<p>使用する商品の出庫元倉庫を選択します。 商品マスタに倉庫が指定されている場合はその倉庫を初期表示します。 SpaceまたはF4キーにて表示される倉庫別在庫一覧から選択して変更可能です。</p> <p>在庫管理する商品で伝区が経費または摘要ではない場合、設定できます。 どの倉庫からも出荷しない場合で倉庫が選択済みの場合はDeleteキーでクリアできます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品の在庫数管理は全て倉庫別に行っています。 在庫管理が必要な商品は倉庫を必ず指定しなければいけません。 指定したい倉庫が倉庫別在庫一覧に表示されない場合、「未登録の倉庫を選択」ボタンで表示される倉庫一覧から選択してください。 
構成数量	<p>構成商品登録している構成数量が初期表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成数量の入力は必須ではありませんが、構成数量 × 完成品の生産数量が所要数量に表示されます。 数量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
所要数量	<p>完成品作成に使用する、その部材の合計数量を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成数量 × 完成品の生産数量 が初期表示されます。表示後の訂正も可能です。 所要数量の入力は必須ではありませんが、在庫管理する場合は、所要数量入力がないと在庫の増減はされません。 数量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
種別	<p>商品マスタに設定してある商品種別(生産)が初期表示されます。 表示後の変更も可能です。 リストには商品種別マスタで「生産(表示)」に「使用する」を設定している種別が表示されます。 種別ごとにデータ集計したい場合などに利用できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
単位	<p>数量の単位を入力またはリストから選択します。 リストには単位マスタに登録されている内容が表示されます。 商品マスタの登録内容が初期表示されますが、変更できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。

項目名称	説明
払出単価	<p>在庫金額計算で使用する単価を入力します。 新規伝票では、商品マスタの売上原価計算法の設定に応じて初期表示される単価が変わります。 (売上入力時の原価が、生産での単価となります)</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単価の入力は必須ではありませんが、在庫金額を管理するには入力が必要です。 ・単価の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
払出金額	<p>所要数量×単価の値が表示されます。 払出金額は生産明細表などに印字されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所要数量や払出単価を入力せずに払出金額のみの手入力も可能です。 ・払出金額の全明細合計が、完成品の受入金額になります。
備考	明細行の備考として任意の文字列を入力できます。
マーク (ボタン)	<p>マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで明細行にマーク(印)をつけることができます。 生産明細表の絞り込み条件にて、マーク(全て、有り、無し)を選択して出力することができます。</p>

4) 明細情報(計行) 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。

計行では入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

項目名称	説明
実在庫数量	<p>明細行を選択すると、その行の商品の実在庫数が表示されます。 商品が、選択されている倉庫に登録されていない場合は、何も表示されません。 伝票登録時に実在庫数量で在庫割れチェックをしている場合、数量の文字が赤字で表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実在庫数には現在明細行に入力中の数量も反映されます。 ・実在庫数量は同時入力端末の情報も含め、リアルタイム処理で集計されています。 ・在庫数の詳細については「在庫計算の考え方」マニュアルを参照してください。 ・倉庫間移動の場合は、出庫元倉庫の在庫数が表示されます。
有効在庫数量	<p>明細行を選択すると、その行の商品の有効在庫数が表示されます。 商品が、選択されている倉庫に登録されていない場合は、何も表示されません。 伝票登録時に有効在庫数量で在庫割れチェックをしている場合、数量の文字が赤字で表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効在庫数には現在明細行に入力中の数量も反映されます。 ・在庫数の詳細については「在庫計算の考え方」マニュアルを参照してください。 ・倉庫間移動の場合は、出庫元倉庫の在庫数が表示されます。